

事務事業名 市報うんなん発刊事業		所属部 政策企画部	所属課 情報政策課
総合計画体系	政策名 (I)みんなで築くまち《協働・行政経営》	所属G 情報政策G	課長名 末次 治良
	施策名 (03)市民と行政の情報の共有化	担当者名 藤原 貴博	電話番号 0854-40-1015 (内線) 2331
	目的 対 象 市民 意 図 市政に関する多くの情報を得る。	予算科目 会計 款 大 事業 大 事業 名 0 1 1 0 0 1 項 目 中 事業 中 事業 名 0 5 1 5 0 1	広報活動事業
	基本事業名 (009)広報媒体による情報提供の充実 目的 対 象 市民 意 図 広報媒体により情報を得る。		広報活動事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
「市報うんなん」を毎月1回発行(発行日は毎月20日頃)。自治会により自治会加入世帯へ配布。ふるさと会員など購読者へも送付。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 「市報うんなん」を毎月1回発行。 自治会発送により自治会加入世帯へ配布。 市役所窓口や交流センター等への配置。 カラーページの増ページ。(特集記事)	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 前年度と同じ。 カラーページの増ページ。(まちの話題:うんなん日和)			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	市報作成ページ数	ページ	354	360	334	350
イ	発行回数	回	12	12	12	12
ウ	配布部数(配布世帯数)	世帯	12,340	12,210	12,044	11,964
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
	市民		ア	世帯数(3月末住基)	世帯	13,811	13,902	13,882	13,900
			イ	人口(人口推計)	人	39,472	39,032	38,506	38,477
		ウ	市報配布手段の検討が必要な世帯数	世帯	1,492	1,692	1,838	1,936	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
	市政への理解を深めてもらう。 行政と情報を共有する。	ア	意見、苦情、要望数	件	15	10	5	5	
イ		市政に関する情報がわかりやすく提供されていると感じる割合	%	51.0	52.3	72.9	58.0		
ウ		市政に関する情報が得やすいと感じる市民の割合	%	53.9	53.1	71.8	58.0		

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
市報うんなん印刷製本費	5,015千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
広報取材等に係る消耗品等	541千円		県支出金	千円				
市報うんなん郵送費用	144千円		地方債	千円				
市勢要覧印刷製本費	265千円		その他	千円	1,350	1,375	2,197	1,787
			一般財源	千円	3,503	3,662	3,768	4,502
		事業費計(A)	千円	4,853	5,037	5,965	6,289	
		人件費	正規職員従事人数	人	4	3	4	
			延べ業務時間	時間	2,400	2,400	2,183	
			人件費計(B)	千円	9,331	9,394	8,660	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	14,184	14,431	14,625	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
自治会未加入世帯が増加している。 H27からショッピングセンターや公共施設など、人が集まる場所にも市報を設置し、自由にお取りいただくこととした。	自治会未加入世帯へは、総合センター窓口等に持ち帰り用を設置している。 左記のとおり、新たに市報の設置場所を増やした。	文字の大きさや色の組み合わせによっては読みにくいところがある。(市民) 時期を逸しない行政情報の提供、重要施策の特集を組むよう求められている。(市民)

事務事業名	市報うんなん発刊事業	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	内容の充実や紙面構成、特集記事への要望が寄せられており、改善の余地がある。必要な内容は網羅しつつも、各年代や地域等あらゆる側面から、必要とされる内容を検討し、住民のニーズに応じた紙面を作成し、情報の周知・共有化を図る。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	必要な情報が伝わらなくなり、市民の生活や市政運営に支障をきたす。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		雲南市ホームページ管理運営事業、雲南夢ネット運営事業(CATV事業)
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	対象となる住民等はそれぞれ自身に適した手段により情報を得ようとしているため、目的を達成するためには多様な広報媒体による情報提供を行う必要がある。		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	内容を精査してページ数を減らす。紙質を安価な物に替えることで削減できる。また、発刊回数を減らすことができれば削減できる。現在、自治会配布物を削減するため市報に集約しているためページ数を減らすことは今後検討が必要。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市民リポーターを活用するなど、市民参加型の市報を制作するようにして、取材や原稿作成を依頼することや、業務ごと委託することで削減できる。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	自治会加入世帯への全戸配布や公共施設等への配置により、紙媒体から情報を得たいと思う人が無料で自由に入手できる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) ・読者率を上げていくためにニーズ把握が必要である。	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<ul style="list-style-type: none"> 市民が興味を持つ内容となるようニーズ把握に努める。 市民の参加、協力を得て市報を制作するための検討をしていく。 		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			